

授業科目名	経営学特殊講義（B） 会計専門職業人の役割	(英語名)	Special Topics 会計専門職業人の役割
科目区分	専門教育科目	-	
対象学生	国際商経学部	学年	2年
ナンバリングコード	KCCBK2MCA1	単位数	2単位

ナンバリングコードは授業科目を管理する部局、学科、教養専門の別を表します。詳細は右上の？から別途マニュアルをダウンロードしてご確認ください。

授業の形態	講義 (Lecture)	開講時期	2024年度後期
担当教員	瓦田 沙季	所属	社会科学部研究科
授業での使用言語	日本語	関連するSDGs目標	該当なし
オフィスワーク・場所	授業終了後、教室にて	連絡先	saki-k@acs.u-hyogo.ac.jp

対応するディプロマ・ポリシー(DP)・教職課程の学修目標

二重丸は最も関連するDP番号を、丸は関連するDPを示します。

学部DP	1◎/4◎
研究科DP	-
全学DP	1-1◎
教職課程の学修目標	-

講義目的・到達目標	<p>【講義目的】 この科目の目的は、会計専門職の魅力伝え、会計専門職業人になるための道標を示していただくことである。そのために、社会で様々な立場で会計に関わっている講師をお招きし、講義していただく。</p> <p>【到達目標】 1)会計専門職は社会的に必要とされる職業であり、目指す価値のある職業であることを理解してもらうことを通じて、専門職業人としてのキャリアを意識し、学習できるようになること、2)自分の目指すキャリアについて考え、述べられるようになること、である。</p>
授業のサブタイトル・キーワード	<p>サブタイトル： キーワード：会計専門職業人、会計の役割</p>
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 本講義では、会計に関する職業について、例えば企業の経理は「記帳」、公認会計士は「監査」というような固定された仕事だけをしているのではなく、多彩な活躍のフィールドがあることを講師からお話していただき、会計専門職の知られざる魅力も伝えていただく。</p> <p>【授業計画】 本講義では、多くの授業が外部講師により行われる。講師の都合により、授業計画を変更することがある。授業計画の確定版は、授業開始時に公表する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会計専門職の魅力と将来性 2. 「会計専門職ってどんな仕事？」①公認会計士の仕事 3. 「会計専門職ってどんな仕事？」②税理士の仕事 4. 「会計専門職ってどんな仕事？」③財務専門官もしくは国税専門官の仕事 5. 「会計専門職ってどんな仕事？」④経理担当者の仕事 6. 「会計専門職業人になるための勉強法」①公認会計士になるための勉強法 7. 「会計専門職業人になるための勉強法」②税理士になるための勉強法 8. 「会計専門職業人になるための勉強法」③大学院進学というルート 9. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」①公認不正検査士の職務 10. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」②中小企業の経営をサポートする税理士 11. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」③公務員の世界における会計の必要性 12. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」④国際的に活躍する会計専門職業人 13. 「これからの会計専門職業人に期待すること」①企業経営者からのメッセージ 14. 「これからの会計専門職業人に期待すること」②キャリアコンサルタントからのメッセージ 15. まとめ（会計専門職業人を目指して） <p>評価</p> <p>※生成系 AI の利用： この授業においては生成系 AI の利用を予定していない。毎回講義内容について、受講生自身の理解に基づいて講義内容および感想に関するレポートを作成し、提出してもらうことを前提としている。</p>
教科書	それぞれの講師の講義資料を事前にユニバーサルパスポートにて配布する。
参考文献	必要に応じて指示する。
事前・事後学習（予習・復習）の内容・時間の目安	<p>【予習】 授業に際して事前に配布した講義資料を読む（30 h）。</p> <p>【復習】 授業終了後にレポートを提出し、なお講義資料を読み直し、理解を深める。（30 h）。</p>
アクティブ・ラーニングの内容	採用しない。
成績評価の基準・方法	<p>【成績評価の基準】 講義目的・到達目標の到達度に基づき、国際商経学部規程に従い成績評価の上、単位を付与する。</p> <p>【成績評価の方法】 原則として、毎回講義内容についての理解を確かめるためにレポートを課し、提出されたレポートの内容に基づき成績評価（100%）を行う。</p>

課題・試験結果の開示方法	講義に関する質問等は、各講師に照会した後、ユニバーサルパスポートを通じてその回答をフィードバックする。
履修上の注意・履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・学外の講師をお招きするので、常識のあるマナーで受講してください。ひどいマナー違反の場合は成績評価に影響があることもありうる。 ・単位習得のためには、毎回受講し、講義内容を適切に記述したレポートを提出することを推奨する。
実践的教育	該当しない。
備考	本講義は、本学の名誉教授である故阪本安一先生のゼミ同窓生から、阪本先生の神戸商科大学における会計研究の業績をたたえ、その名を後世に残すために、兵庫県立大学に寄せられた寄付金に基づいて創設された「阪本安一先生記念基金」の事業の一環として開講される。(複数の講師によるリレー講義となる。)

英語版と日本語版との間に内容の相違が生じた場合は、日本語版を優先するものとします。